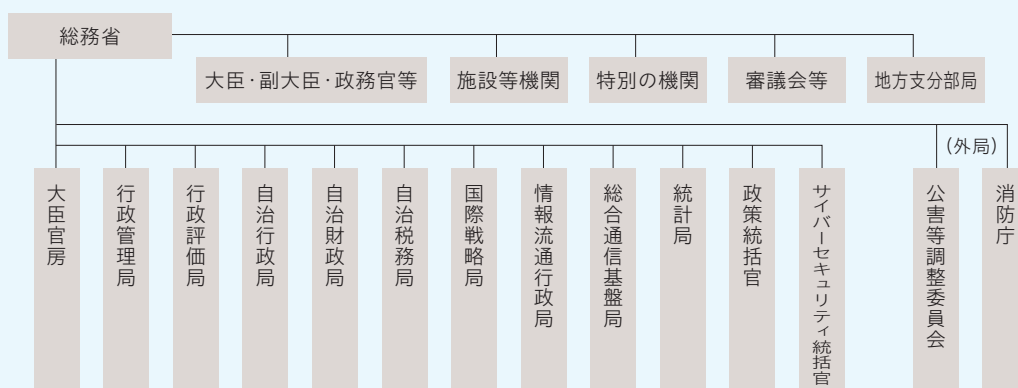


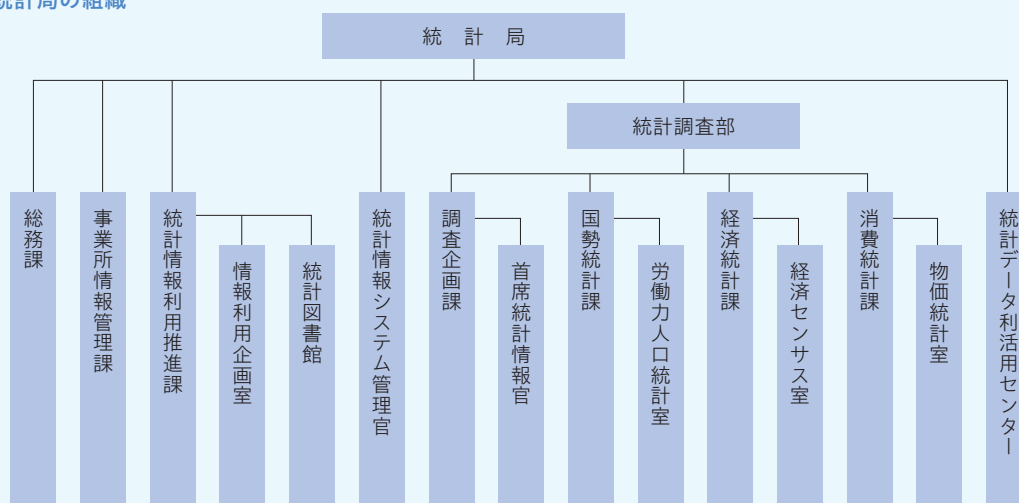
目次 Contents

●先輩からのメッセージ	P. 3
成長を実感できる場所	P. 3
今と未来の人のために	P. 4
人々の生活を支える統計	P. 5
データと社会をつなぐ統計の現場で	P. 6
未来を描く統計の仕事	P. 7
公務員って意外と面白いですよ！？	P. 8
●先輩職員の1日・1か月・1年	P. 9
話題の物価を調べる仕事	P. 9
統計って大事！を伝えます	P. 10
●Q & A	P. 11

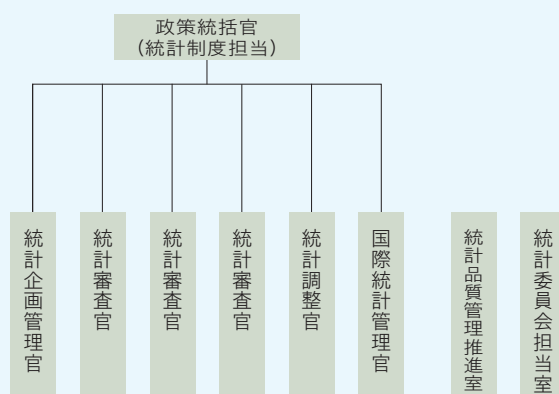
●総務省の組織



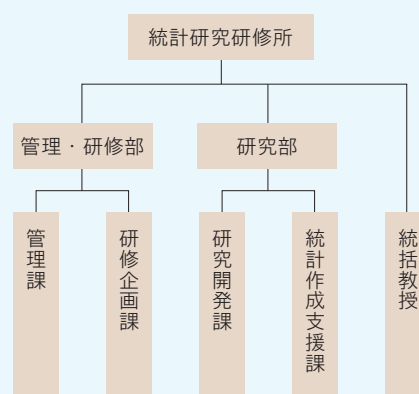
●統計局の組織



●政策統括官の組織



●統計研究研修所の組織



成長を

実感できる場所

統計局総務課給与係

略歴

平成30年4月 入省
統計局統計調査部消費統計課物価統計室
平成31年4月 大臣官房会計課厚生企画管理室
令和4年5月 内閣府青年交流第3担当主査付(政策統括官(政策調整担当)付参事官(青年国際交流担当)付) 併任 青年国際交流担当室員
令和7年4月 現職



Q 総務省統計局を選んだ理由

統計の影響力

恥ずかしながら、初めは統計に関する知識もなく、漠然と興味があり選んだのですが、官庁訪問で「カステラといえば長崎県」というイメージがあると思うが、それも統計調査の結果が影響している」という話を聞きました。その話を聞いた時に、統計が身近に感じたと同時に、とても影響力が大きい仕事だと感じ、そこからより統計局に興味を持ち、入局することを決めました。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

日々勉強

統計局に入局した1年目は、小売物価統計調査に関わる業務をしており、毎月、店舗などで調査された商品やサービスの価格を審査し、調査結果をまとめるといった業務をしていました。

現在は、総務課給与係という部署に所属しており、令和7年国勢調査の国勢調査員が怪我をした際に、公務災害として認定や補償等を行う事務や、統計局職員の通勤手当や住居手当の認定や支払に関する業務を行っています。



公務災害や各種手当を認定するに当たり、法令や規則があり、日々勉強しながら業務を行っているため、自分の知識が増えていることを実感することができます。

Q 仕事の魅力とやりがい

縁の下の力持ち

現在の業務は、都道府県の担当者や各課室の担当者と連携をとり、統計局の職員や調査員の方々が安心して仕事ができる環境を作るような業務と感じています。地味な業務だと思われるかもしれませんが、職員を支える「縁の下の力持ち」のような業務で、やりがいを感じています。

また、業務中は悩むことも多々あるのですが、その都度、頼りになる上司や同僚に相談をして解決をしています。いつでも相談できる環境がある、風通しのよい職場というところも統計局の魅力の一つだと思います。

Q 統計局を目指す皆さんへのメッセージ

自分を成長させる場所

統計と聞くと、数字と向き合うというイメージを持たれる方が多いと思いますが、職員を支える庶務業務や国際的な業務、広報業務など様々な業務があります。幅広くいろんな業務があるため、知識を増やすことができ、自分の成長を感じることができる場所だと思っています。

統計に少しでも興味を持っている方、自分自身を成長させた方、一度、統計局に足を運んでいただけると嬉しいです。

今と未来の人の ために

統計局統計調査部経済統計課 経済センサス室審査発表係

略歴

平成31年4月	入省 統計局統計調査部国勢統計課労働力人口 統計室企画指導第一係
令和3年4月	独立行政法人統計センター統計編成部編成 管理課
令和5年12月	統計局統計調査部経済統計課審査発表係
令和7年7月	現職

Q 総務省統計局を選んだ理由

未来でも人の役に立つ仕事

漠然と人の役に立つ仕事がしたいと思っていた私が就職先を悩んでいた際、職員として働く先輩からお話を聞かせていただく機会があり、統計局という存在を知りました。その後、官庁訪問で、統計という重要な国の財産を作る仕事は今だけでなく、未来においても人の役に立てる仕事だということを知り、魅力を感じて、統計局を志望しました。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

統計ができるまで

入省後は労働力調査の企画業務、経済構造実態調査の審査・公表業務のほか、独立行政法人統計センターへ出向し、調査対象となる企業の回答をサポートする企業調査支援事業の企画業務を経験しました。現在は令和8年に実施される経済センサス - 活動調査における審査・公表の準備に携わっています。統計を作成

し、公表するまでには、調査の企画、実地調査、審査・集計というプロセスが必要です。調査にご回答いただく方々、実地調査を行う地方公共団体の職員の方々など、多くの人の尽力によって集められた調査



票から正確な統計を作成し、無事に公表ができるよう、責任感を持って、担当者の方々と協力しながら、日々業務に励んでいます。

Q 仕事の魅力とやりがい

全員で一つの目標へ

統計局の責務は正確な統計を作成し、公表することであるため、目標が明確であり、目に見える形で成果を得ることができます。統計がニュースや新聞などで幅広く活用されていることを目にすることで責任の重さとやりがいを感じています。

また、統計局では日々変化する社会情勢への対応、調査へご回答いただく方々の負担軽減、業務の効率化などに取り組んでおり、年齢や経験に関係なく、様々な提案を行える風通しの良い職場環境が整っています。

何より全員が一つの目標に向かって頑張っているというのはとても魅力的です。

Q 統計局を目指す皆さんへのメッセージ

統計局でお待ちしています

統計の知識もなく、漠然と人の役に立つ仕事がしたいと思っていた私でしたが、研修を受けて、上司や先輩と働いていく中で、統計の重要性、面白さを知って、楽しく一生懸命に働くことができています。

大変なこともあります、困ったら相談できる人が周りにいてくれるので安心です。

統計局でお会いできる日を楽しみにしています。

人々の生活を 支える統計

統計局総務課支給係

略歴

令和2年4月	入省
	統計局統計情報利用推進課統計編集第一係
令和4年4月	統計局総務課給与係
令和7年5月	現職



Q 総務省統計局を選んだ理由

統計業務に魅力を感じ

将来は人々の生活を支えることのできる仕事がしたいと考えていましたが、具体的にどのような職業に就きたいかは決まっていませんでした。統計局についても、最初は「国勢調査」という単語は耳にしたことがある程度の認識でしたが、統計局の業務説明会に参加した際に、様々な統計調査を通じて国民の方々の生活基盤を幅広く支えるという理念に魅力を感じ、自分も携わってみたいと思ったことから統計局を志望しました。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

職員への給与支給業務

採用後は統計情報利用推進課で「日本統計年鑑」や「日本の統計」の刊行業務を経験した後、総務課給与係で通勤手当や扶養手当などの認定業務を担当しました。現在は、総務課支給係として統計局で働いている職員の給与、諸手当等の支給業務や年末調整に関する業務を主に担当しています。

現在の業務では、ニュースでも度々話題になっている扶養控除や税金関係の法令について



日々勉強の毎日ですが、少しでも知識を吸収して役立てるよう励んでいます。

Q 仕事の魅力とやりがい

働く職員の暮らしを支える

現在は給与の支給業務を担当しているため、統計業務に直接携わっているわけではないのですが、給与や毎月の各諸手当等の支給という、統計局で日々働く職員の暮らしを支えられる「縁の下での力持ち」的な役割であるため、やりがいがあります。正確性を求められるという点で緊張感がありますが、毎月の給与計算業務が滞りなく終わると大きな達成感を感じます。また、配属される前は給与に関する知識がゼロだったのですが、日々の業務の中で法令や規則を調べたり、先輩方から学んでいく中で、自分自身の成長にもつながられていることを実感できます。

Q 統計局を目指す皆さんへのメッセージ

ぜひ統計局に！

初めから全ての業務を完璧にこなせるという人は中々いないと思います。私自身もいろいろ失敗はしていますが、周りの先輩方に相談し支えられながら、少しずつ業務をこなしていけるようになりました。統計局は分からないことがあればすぐに周りの上司や先輩方に相談しやすい環境だと思います。

統計局で働くことを選択肢の一つとしていただけたらうれしいです。

データと社会をつなぐ

統計の現場で

統計局統計情報システム管理官付

略歴

平成31年4月 入省
統計局統計調査部経済統計課科学技術
研究調査係
令和3年4月 統計研究研修所管理課総務係
令和5年3月 現職



Q 総務省統計局を選んだ理由

データから社会を支えたい

最初は、とにかくスケールの大きい仕事に携わりたいと思っていて、そこから様々な分野がある中で、ニュースでよく耳にする「失業率」や「物価」などの数字に、なんとなく興味を持ったのがきっかけでした。調べていくうちに意思決定の土台にはデータがあり、国の政策に限らず、企業や国民の暮らしの中においてもデータが役立つ大切な情報であることを知りました。

そこで、自分も大切な情報をつくる側になって「縁の下の力持ち」という言葉のとおり、数字を通して社会の一部を支えたいと思い、統計局を志望しました。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

統計行政におけるデジタル化の最前線

皆さんは、政府統計のポータルサイトである「政府統計の総合窓口（e-Stat）」をご存じでしょうか？

e-Stat は、誰でも無料で政府統計における様々な分野のデータを調べて活用することができるようになっています。現在私はこのサイトにおける広報活動を主として全国を駆け回っています。また、昨今は、AI などデジタル技術の急速な進歩により、例えばユーザーに対する統計データの提供方法の検討など、各府省における統計行政においてもデジタル面で様々な課題があります。そういった課題に対する検討や政府横断的な各府省担当者との調整にも取り組んでいます。

Q 仕事の魅力とやりがい

国民に向けた広報活動！！

現在の部署では、「政府統計の総合窓口（e-Stat）」の①認知度向上や②利活用促進の観点から、様々な広報活動に積極的に取り組んでいます。

具体的には、①認知度向上の観点から、著名人等を起用した番組や動画の作成、各種広報コンテンツの整備、②利活用促進の観点から実際の活用を想定した事例集の作成や研修講師対応を行いました。その結果、e-Stat へのアクセス数が急増し、ユーザーから様々な場を通じて「使ってみたい / 活用したい」など反響がありました。最終的には、総務大臣から広報成果を評価いただき、総務省広報大賞（優秀賞）を受賞するなど、非常にやりがいを感じました。



Q 統計局を目指す皆さんへのメッセージ

アットホームな職場で毎日が楽しいです！

統計局は、数字を扱う仕事のため、堅苦しい人ばかり…と思うかもしれませんが、実際には優しく話しやすい方が多いです！ 困ったことがあれば、すぐに声をかけられる雰囲気があって、分からないことも丁寧に教えてもらえるので安心です。（日々の雑談で友好関係も築きやすいです！）

また、休日は統計局のフットサルチームで大会に参加したり、プライベートも充実できます！ ぜひ統計局に来て公私ともに充実したライフを送ってみませんか！

未来を描く 統計の仕事

統計局統計調査部
消費統計課統計専門職

略歴

平成25年4月	入省 統計局統計情報システム課統計情報企画 室情報提供第一係
平成26年4月	統計局統計情報システム課統計情報企画 室情報提供第二係
平成28年4月	大臣官房政策評価広報課広報室
平成31年4月	統計局統計調査部国勢統計課指導係
令和3年1月	統計局統計調査部国勢統計課労働力人口 統計室企画指導第一係
令和5年8月	統計局統計調査部消費統計課物価統計室 企画指導係
令和7年4月	現職

Q 総務省統計局を選んだ理由

暮らしの土台となる統計

最初は「東京で暮らしてみたい」という軽い気持ちで官庁訪問をしましたが、統計局のことを知り、調べていくうちに、統計データが社会にとってどれほど重要かに気づき、次第に興味を持つようになりました。

統計調査を通じてデータを集め、それを丁寧に積み上げていく地道な作業が、正確な統計を生み出し、最終的には社会全体を支える土台となっていると知り、大きなやりがいを感じました。

自分もそうした仕事に携わり、人々の暮らしを支える一助になりたいと思い、統計局を志望しました。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

円滑な調査の実施のために

私はこれまで、労働力調査、小売物価統計調査、家計調査といった、統計局で定期的に実施されている調査の企画指導業務を担当してきました。

企画指導担当は、調査の企画・立案を行うほか、調査が全国で円滑に実施されるよう、都道府県との調整も行います。



調査ごとに対象や内容、直面する課題も異なり、簡単なことばかりではありませんが、長年続いてきた大切な調査だからこそ、今後も確実に継続していけるよう日々の業務に取り組むことが大事だと感じています。

Q 仕事の魅力とやりがい

見える形で届くうれしさ

令和2年国勢調査では、広報業務を担当しました。国勢調査は日本に住む全てのひとと世帯を対象に行われるため、多くの方に調査を知ってもらう必要があります。私が制作に携わったポスターやCM、インターネット広告は全国で展開され、責任の重さを感じながらも、大きなやりがいを感じました。

現在担当している家計調査では、家計の収入や支出などを調査しています。家計調査の結果は、テレビや新聞などで紹介される数字の典拠となることも多く、自分の仕事で社会で役立っているのを感じられて、うれしく思います。

Q 統計局を目指す皆さんへのメッセージ

一緒に頑張りましょう！

仕事は周りの方々と助け合いながら進めていくため、「一人では頑張らない」と気負う必要はありません。統計に詳しくなくても大丈夫ですので、少しでも興味があれば、ぜひ統計局を訪れてみてください。皆様と一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

公務員って意外と面白いですよ!?

統計局総務課支出負担行為係

略歴

平成26年4月	入省 統計局総務課用度係
平成29年4月	統計局統計調査部国勢統計課住宅・土地調査第一係
平成31年1月	統計局統計調査部国勢統計課企画係
令和2年11月	統計局統計調査部経済統計課科学技術研究調査係
令和6年4月	現職

Q 総務省統計局を選んだ理由

父親が国勢調査員

幼少期に国勢調査員をしていた父に同行して地域を回った経験があり、そのときの光景が今も印象に残っています。当時は深く考えていませんでしたが、公務員試験の勉強中に統計局の仕事を知り、「国勢調査」というワードを改めて知りました。父親も当時のことを覚えていたようで、二人して「あのときの調査だ!」と思い出し、ワイワイ盛り上がったのが、私自身が興味を持ち始めたきっかけです。きっかけは国勢調査でしたが、調べていくうちに、統計局は様々な統計調査を行っていることを知り、「なんか面白そう!」と直感的に感じ、志望しました。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

あっという間の10年でした。

採用されてから約10年経ちましたが、これまで、私の志望したきっかけにもなった「国勢調査」や「住宅・土地統計調査」などの、国にとって特に重要な調査の担当をさせていただきました。現在は、統計局全体の契約業務を担当しており、例えば、各統計調査において、民間企業に依頼して作成している、紙の「調査票」などの調査用品の作成業務やインターネットで回答するための電子の「調査票」のシステム開発業務など様々な案件の契約業務を担当しております。ちなみに、このパンフレットのデザイン作成や印刷に関する契約業務も担当いたしました。笑

Q 仕事の魅力とやりがい

この数字の裏側には、私たちがいます。

統計局（公務員）の仕事は一見地味に見えるかもしれませんが、自分たちが関わった統計がバラエティ番組やクイズ番組、ニュースなどで取り上げられているのを見ると、「社会の役に立っている」ことを実感でき、大きなやりがいを感じる瞬間でもあります。また、職場には相談しやすく頼りになる仲間が多く、互いに支え合いながら仕事を進められる環境があります。私もすぐ人に相談してしまいますが、皆さん優しく答えてくれます。数字の裏側には多くの人の努力があり、それを一緒に積み重ねていける仲間と働けることも、この仕事の魅力の一つだと感じています。

Q 統計局を目指す皆さんへのメッセージ

なんかいいかも、統計局

実際に働いてみると、華やかな仕事ばかりではなく、地道な作業や調整ごとが多いと感じるかもしれませんが、そうした業務一つひとつが、政策の根拠を支え、行政を動かしていく基盤になります。社会に貢献したい、数字で物事を捉えるのが好き、そんな方にはやりがいのある職場だと思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています!



1日・1か月のスケジュール

小売物価統計調査
担当の場合話題の物価を
調べる仕事

統計局統計調査部消費統計課物価統計室企画指導係

略歴

令和3年4月	入省 統計局統計情報利用推進課情報提供第一係
令和4年5月	統計局統計情報システム管理官付
令和5年2月	統計局統計調査部消費統計課全国家計構造 調査企画係
令和7年4月	現職

1日のスケジュール

9:30

当日の業務・メール等の確認

登庁後、まずはその日にやらなければいけないことを確認し、1日のスケジュールを立てます。また、都道府県の担当者からの連絡や照会等の有無を確認し、照会があるときは対応します。

10:30

資料作成

都道府県の担当者を対象とした実務研修会の資料を作成します。実務研修会は、新たに小売物価統計調査の担当者となった方向けの内容のため、小売物価統計調査の概要や、今後の調査事務を進めていく上での注意点を分かりやすく伝えられる資料を作成します。

13:00

用品調達の準備

調査の手引や事務要領などの用品を調達する準備を行います。調査の進め方の修正が必要となった部分や、都道府県からの意見などを参考に、記載内容を調整します。また、印刷に係る見積りの取得や、調達を担当している総務課との連絡なども並行して行います。

15:30

係内で打合せ

自分が作成した会議資料や調査用品について、係内での内容確認や進捗の報告をします。打合せは前年からの変更点や、その理由などをメインに進めていきます。自分が気付かなかった観点から意見をもらうこともあるので、このような打合せはとても勉強になります。

18:15

業務終了

担当している業務の状況をメモに残して業務終了です。仕事終わりに趣味のスポーツ観戦をしたり、時間があるときは週末のフットサルに向けてジムに行ったりしています。フットサルは統計局の先輩・後輩と一緒にやっているの、興味のある方は入省後にお声かけください！



小売物価統計調査の1か月

1週目

調査開始

小売物価統計調査は、上旬調査、中旬調査及び下旬調査と毎月3回調査を行っています。私の所属している担当は、調査を円滑に進めるために、都道府県や局内の関係各所との調整や、調査事務の説明などを行います。



2週目

調査の報告

調査の報告日は、調査員から調査結果が報告されているか確認し、まだ報告されていない場合は、該当の都道府県に連絡します。トラブルが起きている可能性もあるので、迅速に対応します。場合によっては他の係とも連携して対処方法を決定します。

3週目

調査状況の確認

年に数回、実際の調査店舗に訪問して、不適切な調査がされていないかなどを確認する機会があります。なかなか直接見るできない地方の調査店舗の状況を確認することができると同時に、実際に調査店舗を回することで、調査員が行っている事務と似た経験をすることができます。

4週目

今月の調査終了と次回調査に向けて

今月の調査も終了し、来月の調査に向けて準備を開始します。調査の内容や方法に改善が必要な場合もあります。よりよい統計調査にするために、係内で打合せを行い、調査の内容や方法を検討していきます。

統計局を目指す皆さんへのメッセージ

「統計」と聞くと難しい印象があるかもしれませんが、私も入省したときには専門知識は全くありませんでした。周りの先輩・上司に相談しやすいフレンドリーな職場なので、学びながら少しずつ慣れていくことができます。少しでも統計に興味がある方は、ぜひ統計局と一緒に働きましょう！

1日・1年のスケジュール

入省2年目の場合

統計って大事！を伝えます

統計局統計情報利用推進課統計情報戦略係



略歴

令和6年4月 入省
現職

1日のスケジュール

9:00

1日のスケジュール確認

出勤して最初にメールを確認し、今日やることリストをメモにまとめて計画的に業務を進める準備をします。

10:00

広報冊子の作成

統計局の広報冊子「明日への統計」のデザインを事業者と打ち合わせます。打合せでは、その道のプロの意見を聞くことで自分では気付かない見せ方を発見できるので勉強になります。素敵な1冊を作成するために、グラフの細かいところにまでこだわりがあります。刊行した「明日への統計」は、各県立図書館等に配布しているので見つけた際は、ぜひご覧ください。

統計局のホームページからでもご覧いただけます！

12:00

ランチ

同期と一緒に昼食を食べます。

統計局の庁舎には食堂とコンビニがありますが、統計局付近のお店もたくさんあるので、たまに同期と一緒に往ったりもします。

14:00

オンライン講座のリニューアル

統計の大事さをお伝えるため、データサイエンスに関するオンライン講座を3種類開講しています。受講生の興味をひくことができるよう、リニューアルするための準備をします。講師は統計の専門家をお願いしますが、専門的な説明になりすぎないように、講師と打合せを行い、数学の知識がなくても理解できるように、丁寧に説明してもらうようお願いをします。こういった打合せでは、初心者であることが武器になります。



17:45

退庁

本日の業務時間が終わったら、明日にやる業務の内容をまとめて退庁します！

退庁後は同期とショッピングしたり、趣味を満喫したりしています。たまに同期会があったりするので飲みに行き、楽しい時間を過ごしています。

1年のスケジュール

4月～6月

広報冊子の刊行

毎年、統計局が実施する統計調査を中心に、最新の調査結果を紹介するための広報冊子を刊行しています。広報冊子について、統計局の魅力を伝えるテーマは何か、過去の広報冊子から情報を取りまとめて、上司に提案を行います。また、皆様に手に取ってもらえるよう、スタイリッシュな冊子にするとともに、グラフの見せ方に間違いがないか、各調査担当とともに確認を行い、一人でも多く統計調査への理解を深めていただけるよう心掛けながら作成しています。



7月～8月

「こども震が関見学デー」への出展

8月上旬に「こども震が関見学デー」が開催されており統計局も参加しています。

こどもたちに、統計に少しでも興味をもっていただくために、みんなでグラフを作る展示など工夫をして楽しみなながら統計を学べるイベントを企画します。

9月～12月

統計データ分析コンペティション

統計データを使った論文を高校生・大学生から募集する統計データ分析コンペティションについて、優秀な論文を選定しています。選定されたものを幹部に説明するための準備をしますが、幹部にお会いする機会が少ないため緊張します。受賞者の皆様を表彰するための、表彰状や表彰楯を準備します。

1月～3月

データサイエンス・オンライン講座のリニューアル

毎年データサイエンスのオンライン講座を開講しています。データサイエンスを取り巻く環境の変化はとても早いので、リニューアルして最新の統計について知ってもらえる講座を目指します。2025年は演習編がリニューアルしました！

統計局を目指す皆さんへのメッセージ

入省前は「統計」って何だろう？と思っていました。業務を通して実際に身の回りで、統計が身近に活用されていることに気づき、その必要性を改めて感じました。

職場は、雰囲気温かく、安心して業務が行えます。統計局が気になった方はぜひ！

一緒に働ける日を楽しみに待っています！

Q1.

総務省統計局は、どのような業務を行うところですか。

統計は、「社会の情報基盤」として今日の行政運営や企業の意思決定などに必要不可欠なものとなっており、統計なくして国家などの運営は成り立ちません。

総務省統計局では、国勢調査を始めとする国の重要な統計調査を企画・立案及び実施し、社会に役立つ客観的で正確な統計を作成・提供しています。

Q2.

最近の採用実績について教えてください。

令和6年度一般職試験（高卒者試験）の採用者数は3人（うち女性3人）となっています。過去3年間の採用状況は以下のとおりです。

令和4年度試験	6（2）
令和5年度試験	10（3）
令和6年度試験	3（3）

※人数は、各年度の国家公務員一般職（高卒者試験）採用者数（括弧内は女性の内数）

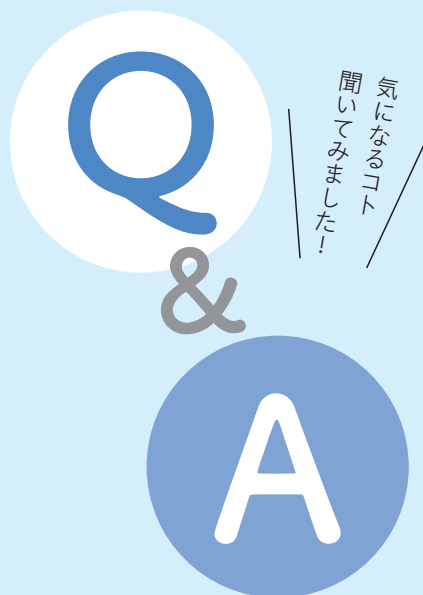


Q3.

採用後の配属先、勤務地はどうなりますか。

採用後は、総務省統計局の各課に配属となり、所管する統計調査に係る企画・指導・公表等の業務や、統計調査に係る業務を後方支援する庶務・会計等の業務を担当することになります。

勤務地は基本的に東京都内となります。



Q4.

配属後はずっとその部署で勤務するのですか。

配属された部署によって異なりますが、おおむね、数年に一度、他の部署へ異動することとなります。本人の希望、適正に応じ、総務省内の他部局、他省庁、独立行政法人統計センター等に出向することもあります。

Q5.

採用に有利な資格はありますか。

語学力、情報処理などの資格は歓迎しますが、特に採用条件とはしていません。あくまでも人物本位で選考します。



Q6.

統計に関する専門知識がないので、不安なのですが。

採用後、新規採用研修を受講するほか、基本的な統計知識の習得から専門的な知識の習得まで、段階に応じた専門的な研修があり、随時受講が可能ですので、心配ありません。

その他、語学研修や情報システム研修など、様々な研修も行っています。

Q7.

宿舎はありますか。

独身用宿舎及び世帯用宿舎があります。また、民間アパートなどを使用する場合は家賃の一部を住居手当で支給することになります。

Q & A